



チャレンジ90

南阿蘇村立中松小学校
学校だより
令和2年6月12日第7号
発行 校長 松本 政子

今後の学習活動について

学校が再開して2週間が経ちました。学習も本格的に始まり、新しい生活様式にも慣れてきたようです。しかし、まだまだ油断はできません。現在、授業は3密に気をつけながら通常に近い形で行っておりますが、気をつけることがあります。文部科学省から以下の通知が出ておりますので、それに従って、学習活動を行っています。いろいろなことに気を配りながら、安全を確保しているところです。現在、熊本県は、レベル1地域ですが、本校では見合わせている学習活動がいくつかあります。

具体的な活動場面ごとの感染症予防対策について

各教科等について

- 各教科における「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」として、以下のような活動が挙げられます（「★」はこの中でも特にリスクの高いもの）。
- ・各教科等に共通する活動として「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」（★）
 - ・理科における「児童生徒同士が近距離で活動する実験や観察」
 - ・音楽における「室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」（★）
 - ・図画工作、美術、工芸における「児童生徒同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
 - ・家庭、技術・家庭における「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」（★）
 - ・体育、保健体育における「児童生徒が密集する運動」（★）や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」（★）

【レベル3地域】上記の活動は、「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い」ことから、行わないようにします。

【レベル2地域】上記の活動は、可能な限り感染症対策を行った上で、リスクの低い活動から徐々に実施することを検討します。

【レベル1地域】上記の「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」については、可能な限り感染症対策を行った上で実施することを検討します。

水泳学習についても通知があります。(抜粋しています。詳しくは文科省 H.P を参照ください。)

- 毎朝の検温や健康観察により学習前の児童生徒の健康状態を把握し、体調が優れない児童生徒の水泳授業への参加は見合わせる事。
- 授業中、児童生徒に不必要な会話や発声を行わないよう指導するとともに、プール内で密集しないよう、プールに一齐に大人数の児童生徒が入らないようにすること。
- 授業中、児童生徒が手をつないだり、体を支えるなど、児童生徒が密接する活動は避けること。
- 更衣室については、児童生徒の身体的距離を確保することが困難である場合は、一齐に利用させず少人数の利用にとどめること。更衣室利用中は、不必要な会話や発声を行わないよう児童生徒に指導すること。水泳の授業中はマスクを外すことになるので、マスクの適切な取扱いについて指導するとともに、更衣室利用の前後に手洗いを徹底すること。併せて、更衣室のドアノブやスイッチ、ロッカーなど児童生徒が手を触れる箇所は、こまめに消毒を行うこと。
- 水泳の授業で児童生徒が使用するタオルやゴーグルなどの私物の取り違えや貸し借りをしないよう指導すること。

本校でも以上のようなことに留意しながら、水泳の学習を行います。ご不安等がございましたら、遠慮なくご相談ください。

熱中症に注意！

マスクをしていると、のどの渴きを感じにくいそうです。これからの季節、こまめな水分補給が大事です。外からかえったときは、手洗い、うがいに加えて、水分補給も意識させていきましょう。外ではマスクをはずして遊んでいます。

マスクをしなくていいとき

たいいく



おひるやすみ



また、教室では換気をしながらエアコンを使用していきます。

家庭学習の習慣を

新しい学年の学習が始まり、それぞれの学級で学習の定着に向けた家庭学習の課題が出されています。授業の中で学習したことの復習を家庭で行うことは、次の時間の理解にもつながっていきます。家庭での学習時間は、(学年+1)×10分と言われています。1年生だと20分程度、6年生になると70分となりますね。与えられた課題だけでなく、自学等を入れながら、家庭での学習習慣を身につけてほしいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。